

## ●○第4の審判員のお仕事○●

皆さん、第4の審判員はご存知だと思います。日本代表の試合やリーグでも見かけますし、実際に経験されたことのある方もいることでしょう。しかし、試合中はテレビなどにもあまり映りませんし、なかなか割当て第4の審判員を経験することはそれほど多くないのではないのでしょうか？

第4の審判員が具体的にどのようなことを試合中に行っているのかわからない方も多くことと思われるので、今回は第4の審判員のお仕事についてご紹介致します！

### ①会場入り

会場には他の審判員同様、決められた時間までに入ります。集合時間が決められている時やミーティングがある場合にはそれまでに、特にない場合でも最低試合開始60分前には会場入りをするようにしましょう。試合前には様々な準備がありますので、余裕を持って行動できるように早めに会場入りができるといいですね。

運営スタッフやチーム関係者、他の審判員とも顔を合わせたら挨拶をしましょう！



### ②準備

試合開始前には主審を中心に打ち合わせが行われますので、しっかり第4の審判員の役割を確認しましょう。主審や副審が第4の審判員に何を求めているのか、何を協力してもらいたいのかを打ち合わせで確認できるいいでしょう。

試合中に、他の審判員がその任務を続けることが難しくなった際に、どの役割を引き継ぐことになるかも確認していつでも代わられるように準備しておきましょう。

試合で実際に使う道具を確認します。

試合球が何球で行われるのか？マルチボールなのかどうかも確認し、ボールパーソンがいる場合には配置も確認しておくいいでしょう。使用する全てのボールが競技規則第2条の要件に適合しているかを主審や副審と一緒に確認します。空気圧の過不足については、審判チームで調整して、要件に適合させることもあります。

交代ボードや予備のアシスタントフラッグが会場に準備されているか確認します。アシスタントフラッグが試合中に破損してしまう場合もあるため、会場に予備がない場合には、自分たちで準備をしましょう。また、交代ボードがない場合には、交代やアディショナルタイムの時の表示についてどのような方法をとるのかを主審に確認をしておきましょう。交代ボードがある場合、使い方に慣れていない方は試合開始前に交代ボードの数字を作る練習をしておくいいですね。担架要員がいる場合にはどのような時に準備をして欲しいか、主審がどのような合図をしたり、どのような時にフィールドに入ってもらえるのか等を伝えるなど、事前にコミュニケーションをとり試合中にスムーズな対応ができるようにしておきましょう。

また、試合中の出来事を記録するメモ用紙やそれを挟むバインダーなども準備しておく便利です。

### ③試合前に

第4の審判員も他の審判員とウォーミングアップを行きましょう。

また、試合開始前までに交代ボードや予備のフラッグ等、必要な用具を第4の審判員席に準備をします。

試合前の選手チェックの際には他の審判員と協力してメンバー用紙の名前、背番号、身につけられた用具等を確認し、認められていない人が試合に出ないように、選手に怪我が起こりうる可能性を減らすように注意を払いましょう。

### ④試合中

試合中の得点や懲戒処置の記録、ベンチとのやり取り、主審や副審が気が付かないところへの目配り気配り、担架要員との協力、交代の手続き等、試合中の第4の審判員の役割は多岐に渡ります。

ベンチでチーム役員や交代要員は責任のある態度で行動していますか？メンバー用紙に記載された人以外がベンチ内にいませんか？指示はテクニカルエリア内で行っていますか？2人以上ベンチから離れ指示をしていませんか？ウォーミングアップやクールダウンをする交代要員以外はベンチへ着席していますか？交代要員やチーム役員は競技者と区別の出来る服装でいますか？

もちろん第4の審判員もプレーを見ておく必要はあります。しかし、第4の審判員は主審や副審とは違い、周囲への対応が求められるため、プレーを見すぎてその他の対応が疎かにならないように気を付けましょう。

とはいえ、過敏になりすぎる必要はありません。何でもかんでも目くじらを立てて注意をするのではなく、試合を通してチームと友好的な関係を作ることも大事です。自分が監督だった場合、審判員の対応がどのようなであれば競技規則を守ろうと思いますか？どのようなタイミングでどのような声掛けをすればいいのかを研究していきましょう。



#### \*交代

各チームから交代用紙が提出されたら、用紙にしっかり必要事項が記入されているかを確認します。交代回数、時刻、監督署名なども記入が必要です。記入されていない場合には、チームに書いてもらうよう伝えましょう。

交代して出場する競技者の氏名と背番号、交代して退く選手の氏名と背番号がメンバー用紙に届けられているかを確認し、届けられた背番号や氏名に間違いがある場合には、選手やチームへ伝えます。交代して出場する選手がその人本人かどうかは、選手に名前を言ってもらうなどして確認をしましょう。

交代ボードがある場合には、番号をボードに表示します。A1が近くにいる際には次のアウトオブプレーで交代をする旨を伝えておくとスムーズです。

アウトオブプレーになったら、交代ボードを頭上にあげ、交代があることを主審に知らせます。コーナーキックやフリーキックの際には、チーム側から交代を待って欲しいと申し出がある場合がありますのでチームへ確認をしてからボードを上げるとスムーズにいくでしょう。

退く選手がフィールドの外に出るのを確認し、主審の合図を受けてから、交代して出場する選手をフィールド内へ入場させます。

また、ハーフタイムに交代が行われることも多くあります。その際には早めに席に戻るなど準備をするといいでしょう。チームから声がかからない時にも、主審がベンチアウトの合図をした後に両チームへ交代の有無を確認しておくといいでしょう。

#### \*ボールの対応

マルチボール以外で試合が行われる際に、予備のボールを第4の審判員が管理することが多くあります。ボールを取りに行くまでに時間がかかる場合には、主審からボールを要求されることがあります。どのような合図を受けてボールを入れるのかを確認しましょう。

ボールを第4の審判員席で管理する際には、足で踏みつけたりしないように気をつけましょう。また、ボールを入れる際にも足ではなく手で転がし入れるようにしましょう。

#### \*けが人

プレー中、接触などで倒れた選手が発生した場合、いつ主審から担架の要請があってもいいようにタッチライン近くまでよります。この時、担架要員へも準備をするように声掛けをしましょう。

チーム役員へは主審の合図があるまではフィールド内へ入らないように声をかけておきます。役員の入場か、担架での搬出か主審の合図を確認して対応しましょう。

打ち合わせで主審より、止血の確認を求められている場合には止血の確認をし、選手の復帰の援助をしましょう。

#### \*記録

試合中の記録は主審や副審同様に行います。

得点の記録、交代の記録、懲戒処置の記録を取ります。タイミングは、主審と副審の2人が記録し終わったことを確認した後が望ましいでしょう。懲戒処置の記録は、時間と選手の背番号を確認して間違いがないよう記載します。そのとき、わかる範囲で構わないので、懲戒の理由についても記録できるといいです。(試合終了後に、審判チームで確認をします。)



#### \*飲水タイム時など

飲水タイム時には、選手がタッチラインから外に出ないかどうか注意を払います。そして、飲水を終えたら速やかにプレーに戻るように、声かけをしましょう。

#### \*アディショナルタイム

主審との打ち合わせ時の通りに、試合終了近くになった時間帯で主審とアイコンタクトして、確認をします。

確認した時間を、45分ハーフであれば、ちょうど45分になる頃に表示します。アディショナルタイムが0分の時には表示する必要はありません。

交代やけが人などの対応で、アディショナルタイムを表示すべき時間に重なってしまった際には、そちらを優先しまし

よう。時間内に表示が難しくなった際には、直接両ベンチへ伝えに行きます。負けているチームやホームチームから伝えるなど、順番等も考慮しましょう。

必要時にすぐさま動ける準備は必要ですが、第4の審判員は必ずしも立っている必要はありません。第4の審判員は、主審や副審が気付かない部分にこそ気が付く必要があります。ご自身がレフェリーを担当した際に、試合中にどういふ対応してくれる第4の審判員ならありがたいですか？

## ⑥試合後

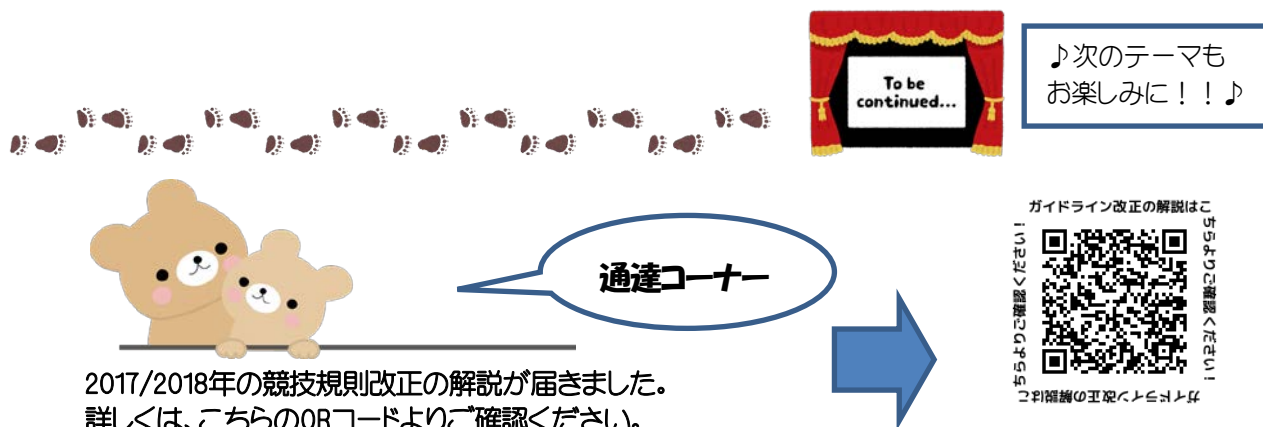
試合記録の確認を他の審判員や記録担当者で行います。間違っている場合には訂正が必要です。

試合によっては、審判アセッサーが派遣され、試合終了後にレフェリングについてのフィードバックがあります。その際には、積極的に参加しましょう。

※「フィードバック(振り返り)」とは、担当した試合についての審判員各自が自己分析をし、アセッサーからはアドバイスがもらえるミーティングのことです。(以前は「反省会」と言っていました。)

### \*最後に…。

第4の審判員の仕事はこのように様々です。決して交代やアディショナルタイム表示だけが、任務ではありません。試合が円滑に進むためにも第4の審判員の役割は重要になります。つつい主審や副審の動きに、目がいてしまいますが、今度は主審や副審だけでなく、第4の審判員の動きにも注目して、試合を見てみるといいかもしれませんね。



♪ 次のテーマも  
お楽しみに!! ♪

通達コーナー

ガイドライン改正の解説はこちらのQRコードよりご確認ください

2017/2018年の競技規則改正の解説が届きました。  
詳しくは、こちらのQRコードよりご確認ください。



## 広告主さま募集しています。

- 千葉県内約1万3千名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
- 募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
- この枠が1枠の大きさの目安です。

詳細、お申し込みは…(公社)千葉県サッカー協会事務局  
(TEL:043-310-4888) にご連絡をお願いいたします。

## 編集後記

私もレフェリーキャラバンに参加させて頂きました。たくさんの仲間が集まり顔を合わせてサッカーの話ができ、色々な意見や考えを知る機会は素敵ですね。相手の考えを引き出すことや、現時点の課題をアセスメントをしながら抽出することは私の仕事にも通じているので、非常に興味深い！今後も選手、審判、インストラクターが同じベクトルを向けて、千葉県サッカー界を前進させたいですね！(aya)

## レフェリーニュース編集員

木川 綾

長谷川 鉄哉

唐崎 敦好

染田 洋

公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

E-mail:cfarcs.somu@gmail.com

<http://cfa-referee.lollipop.jp/>